

1 本校の概要

本校は、全日制課程 75 年、定時制課程 67 年の歴史と伝統のある学校である。教育目標の「知性と感性に富む創造力豊かな人間を育てる」「明朗にしてたくましい心豊かな人間を育てる」「平和を愛し、国際社会に貢献できる人間を育てる」のもと、「国立に五商あり 人づくり夢づくりのまなびや」を合言葉に、国立という地域と連携し、地域に根ざした教育を目指している。生徒の進路希望は、大学進学が増加傾向で、対応した教育活動が求められている。本校の地域連携の推進組織は、進路指導部や商業科、地域連携推進プロジェクトチーム等が中心になって学校全体で推進している。

2 地域の企業、大学等と連携した全日制課程の授業

(1) 第 1 学年の東京都設定科目「人間と社会（ライフデザイン・社会体験活動）」

【 講義の様子 】

国際ロータリーと連携したインターンシップの事前学習として、毎年 5 月に、首都大学東京の松尾隆准教授から、「業界研究、企業研究に向けて」のテーマで、研究に必要な 9 つの分析視点を講義していただいている。生徒が受入先企業の理解を深めること、企業研究の手法など商業の専門性を高め、将来の進路選択に生かす進路学習がねらいで、生徒からは「企業について新たな視点をもつことができた」「インターンシップが楽しみになった」などの意見があった。



(2) 第 2 学年の教科商業の特設授業

(1)と同様のねらいで、毎年 9 月に、JR 南武線谷保駅北商店街の活性化を担っている NPO 法人「くにたち富士見台人間関係キーステーション（以下、KF とする）」の企画により、マーケティングをテーマに、一橋大学の松井剛教授による講演とグループワーク、発表などを実施している。

【 講義の様子 】



【 グループワークの様子 】



【 生徒の発表の様子 】



(3) 第 2 学年の教科商業の学校設定科目「ビジネスデザイン」

毎年、KF のヤホレンジャー（商店街のマスコットで一橋大学の学生 3 名が、赤・青・黄色の着ぐるみを着て活動している）による商店街活性化のための取組の授業を実施している。生徒たちは、地域のまちづくりについて、背景や成果、苦勞とやりがいなど、実践的に深く学ぶことが出来る。また、同商店街の店主さんへ生徒が取材をして、各商店のポスター制作をしている。完成後は、例年 10 月に、富士見台フェスティバルのビジネスポスターコンテストに参加する。昨年は、国立市の社会を明るくする運動の強調月間において、同ポスターを展示していただいた。このような取組も、商店街をはじめ、東京都中小企業振興公社や、(株) スイベルアンドノット、一橋大学、国立市、保護司等の地域の皆様の御支援によるものと感謝している。

【 授業の様子 】



【 富士見台フェスティバルのポスターコンテストの様子 】



(4) 第 3 学年の教科商業の科目「課題研究（起業家チャレンジ）」

毎年、富士見台商店街の御協力により、「五商ショップ」という販売実習をさせていただいている。今年は、6 月に、KF に協力して「～くにたち野菜と地域グルメ～ とれたてマルシェ」の運営補助に参加した。

3 むすびに

その他、地域の消防署と連携した第 2 学年生徒全員の普通救命講習、簿記部生徒が運営補助する都民対象公開講座、定時制課程の地域連携授業、専門学校と連携した教員校内研修を行っている。

今後も地域の教育力をお借りし、生徒の専門性を高め、進路希望の高いレベルでの実現を図る。